

# THE FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE

# 居 留 地 会 議

旧居留地連絡協議会・会報No1・1988年2月10日

“……This is a superb illustration of what the genius of Western countries, as represented by the enterprise, the perseverance, thrift, and experience of their merchants, has done for Kobe …… I can not be expected to give a history of the Municipal Council, as that would be equivalent to giving the history of Kobe itself; moreover, can the Council well be said to have a history? ……”

July 17th, 1899

de Lucy Fossarieu

「……この街こそ西欧諸国民の精神を示すみごとな実例であります。進取の気風、忍耐、儉約、そして商業経験、これが神戸に寄与してきたのです。……私は居留地会議の歩んだ歴史を今さら振り返ろうとは思いません。居留地会議の歴史はそのまま神戸の歴史であり、神戸の歴史を抜きにしては、居留地会議の歴史も語れないからです。……」これは1899年、居留地が日本に返還されたときの、領事ド・ルシイ・フォサリュウの演説の一部です。神戸の居留地をどこよりも美しい街につくりあげていった居留地会議の精神がその中にあふれています。今、私たち旧居留地連絡協議会も、その精神を受継ぎ、会報に、その由緒ある「居留地会議」の名を付けさせていただきます。旧居留地連絡協議会のこれからの活動にご注目ください。

歴史、そして未来へ



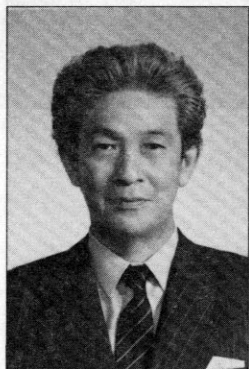
●ジャパン・クロニクル発行の居留地50年史、「ジュビリーナンバー1868-1918」（神戸市立博物館所蔵）より英文引用、訳文は、神戸新聞出版センター発行「神戸外国人居留地」を参照させていただきました。

神戸外国人居留地設計図写 J.W.ハート原図(1870年(明治3年))  
(神戸市立中央図書館所蔵)

# にぎわいと風格あるまちづくりを 進めていきたい。



会報発刊にあたって  
旧居留地連絡協議会 会長 南 穎三



旧居留地内にて業務を営んでおります各企業によって構成された旧居留地連絡協議会がこのたび会報を発行することになりました。

会報は加入会員だけのものではなく、ここ神戸の中心業務地にお勤めの方々はもちろんのこと、市民の皆様にも、本誌を通して、この地区を理解し親しみをもって育てていただきたいと願っています。

この地区はご承知の通り明治の初めより外国人居留地として神戸港の発展と共に栄えてきました、当会の前身であります国際地区共助会は戦前より活動し親睦を旨としておりました。その後幾多の変遷をへて現在の会となりました。本会はあらゆる業種の企業が集り構成され、相互の親睦、交流が盛んに行われており、日本でもまたとないユニークな会であります。

今この街の発展のためあらゆる施策を計画しております。『明るくにぎわいとるおののある街、歴史と風格を感じさせ神戸らしい街』にしてゆきたいと会員一同考えを

統一して地区活性化のため邁進しております。

今後も神戸市などと連携し街の発展に微力ながら寄与いたしたいと思っておりますので、各位の絶大なるご支援ご協力をお願いいたします。どうか引続いて当会が発行いたします街のニュースなどご高覧いただき、なお一層のご助力の程お願い申し上げます。

# 旧居留地連絡協議会の活動に 期待。

神戸市都市計画局長 矢的 照夫



「居留地会議」の発刊にあたり、心よりお喜び申し上げます。

旧居留地地区は、ご案内の通り兵庫開港にともな

設けられた外国人居留地であり、海運業を中心に神戸発展の礎としての役割を果たしてきました。

また街並みも、西洋の近代都市計画技術により、格子状街路、下水道等が計画的に配置され、大正・昭和初期に建てられた近代建築物が往時の面影をしのばせ、神戸を

代表する歴史と風格のある景観を形成しています。

神戸市では、当地区を昭和58年に神戸市都市景観条例に基づく都市景観形成地域に指定するとともに、舗道整備・無電柱化の推進等、歴史と風格のある街並みの形成と、都心業務地にふさわしい、にぎわいのある街並みの形成をめざして各種事業を実施してきました。

一方、昭和60年に景観形成市民団体に認定させていただきました「旧居留地連絡協議会」におかれ、日常の景観形成活動の他、61年11月には、——旧居留地の昨日、今日、そして明日——と題して都市景観シンポジウムを開催され、他の大都市の模倣ではなく、歴史的、景観的資源を活用した神戸らしい街づくりの方向性を打ち出され、その実現に向け活動されていることに対し敬意を表する次第です。

最近では街もとみに明るくなり、人の流れも増えており、このように、関係者が一体となって街づくりにはげんできたことが、街の活性化につながったものと考えております。

最後になりましたが、今後とも、貴会の一層のご活動に期待いたしますとともに、市といたしましても、地域の皆さまと一体となって、個性と活力のある街づくりに向けて努力をつづけて参る所存でございます。

## 旧居留地連絡協議会のあゆみ

(昭和56年～昭和62年)

●昭和56年8月 神戸市都市景観審議会に地元臨時委員を選出、参画。

●昭和58年6月 神戸市より都市景観形成地域の指定を受ける。

●昭和58年9月 指定に伴い地区容積率のアップなどに関する要望書を市長に提出。

●昭和58年9月 神戸市長より申入れの主旨に添うよう努力する旨の回答。

●昭和60年1月 地区内歩道改修工事の申入れ了承。着工、完成に協力。

●昭和60年12月 景観形成市民団体として神戸市より認定を受ける。

●昭和61年11月 『都市景観シンポジウム'86』を神戸市と共催。参加者約500名。

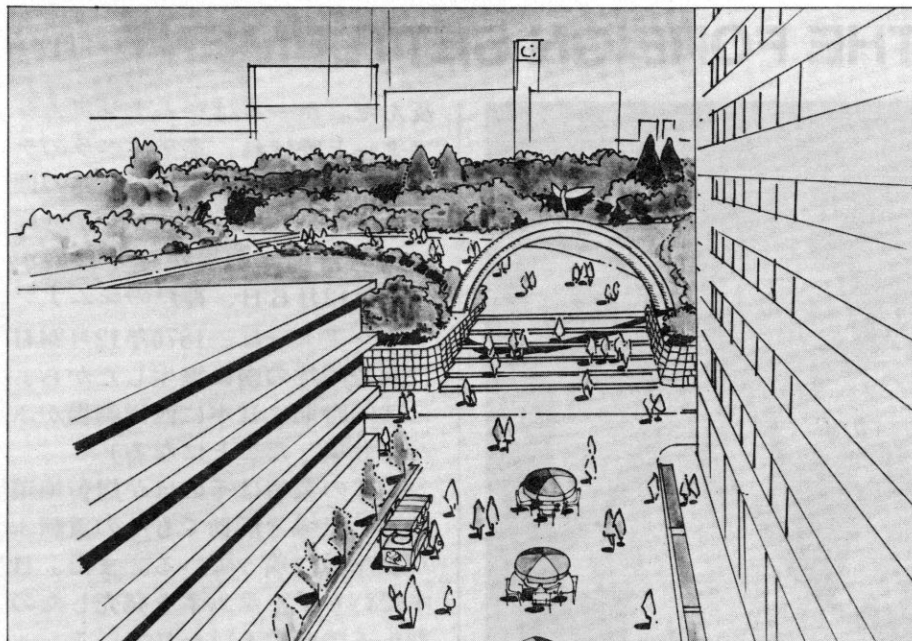
●昭和61年11月 神戸市より当会のまちづくり活動に対して、感謝状を受ける。

●昭和62年6月 「まちづくり功労者」として、建設大臣より感謝状を受ける。

●昭和62年12月 旧居留地街づくりに関する要望書を、神戸市長に提出。

そのほか、生田警察署と地区内交通問題、生田消防署と防災関係の協議など。

総会、例会は年に5～6回、まちづくり委員会は毎月第2、第4火曜日に定例会議。他に懇親会などをその都度開催。



## 東遊園地に、旧居留地への玄関口を！

——動きはじめた、プロムナード計画——

東遊園地から港郵便局、日本銀行、オリエンタルホテル、太陽神戸銀行、大丸へと、旧居留地に向かう東西の通りは、J.W.ハートの居留地設計図にNAKAMACHI(仲町)と記されているように、まさに、旧居留地の中心街でした。

いまふたたび、この通りを、歴史的環境と調和した、おしゃれな

ストリートとして見なおしてゆきたい。これが、当会の目ざすプロムナード計画です。旧居留地のまん中に、散歩が楽しめる美しいプロムナードをつくらうとする計画ですが、残念なことに、この東西の通りは、東は東遊園地の石垣に突きあたっていました。石垣をはずし、三の宮からも、フラワー

ードを回わり、旧居留地、そしてメリケンパーク・南京町へとつながる散策路にしたい。そこで、当会は、市の指定する『都市景観形成地域』の基本方針にもとづき、早急にこの東西通りの地元案を作成、昨年11月に市に提出いたしました。

さらに、当会では、すでに計画予定に上がった東遊園地の改造に際し、旧居留地の玄関口にふさわしい構造とするとともに、道路の緑化、照明灯・道路標示の充実を、昨年12月市に要望いたしました。

東遊園地は、歴史の上からも、旧居留地と密接な関係があります。19世紀末、当時グラウンドであったこの地では、居留地に住む外国人たちによって、クリケットなどのスポーツが盛んに行なわれていました。居留地の人々が、もっとも大きな楽しみ場所としていたところが、ここです。居留地と東遊園地は、いまでも、切り離しては考えられません。東遊園地から旧居留地、さらにメリケンパーク・南京町へとつづく、最も神戸らしいプロムナードづくりが、私たちの提案によって、いまはじまろうとしています。

●上図は11月に提案したイラストの内の1枚。東遊園地と仲町の接する部分。

### 旧居留地連絡協議会 会員

(株)朝日ビルディング神戸支店  
 朝日生命保険相互会社神戸支社  
 第一 楼  
 (株)第一ビルディング神戸事業所  
 (株)大広神戸支社  
 大協殖産(株)  
 (株)大丸神戸店  
 大神倉庫(株)  
 電通神戸ビル管理事務所  
 同和火災海上保険(株)神戸支店  
 大日産業(株)神戸支店  
 平和不動産(株)神戸出張所  
 (社)兵庫県農業会館  
 兵庫県信用保証協会  
 (株)兵庫クレジットサービス  
 (株)兵庫相互銀行本店  
 入江ビルディング(株)  
 兼松江商(株)  
 川興不動産(株)

川崎汽船(株)  
 関電産業(株)神戸営業所  
 (株)華東聯合有限公司  
 (株)建隆エステート  
 (社)神戸銀行協会  
 K D D 神戸営業所  
 神戸貿易協同組合  
 神戸生糸取引所  
 神戸市民生活協同組合  
 神戸市立博物館  
 神戸信用金庫本店  
 公共建物(株)神戸事務所  
 (株)近藤商店  
 興和不動産(株)神戸営業所  
 松岡不動産(株)  
 松下電器産業(株)神戸家電営業所  
 明海興産(株)  
 明興ビルサービス(株)  
 南(株)

(株)三菱銀行神戸支店  
 三菱信託銀行(株)神戸支店  
 (株)三井銀行神戸支店  
 三ツ星貿易(株)  
 日本銀行神戸支店  
 日本毛織(株)  
 (株)日本長期信用銀行神戸支店  
 農林中央金庫神戸事務所  
 (株)ノザワ  
 N T T 神戸料金センター  
 N T T 神戸ネットワークセンター  
 N T T 三宮電話局  
 (株)西日本銀行神戸支店  
 (株)オリエンタルホテル  
 神 栄 (株)  
 神港ビルチング(株)  
 商工組合中央金庫神戸支店  
 商船三井興産(株)神戸事務所  
 住友生命保険相互会社神戸西支社  
 三共生興不動産(株)  
 (株)塩田商会  
 (株)太陽神戸銀行

泰神殖産(株)  
 大正海上火災保険(株)神戸支店  
 泰和実業(株)  
 (株)高砂商行  
 (株)東海銀行神戸支店  
 東京海上火災保険(株)神戸支店  
 東神ビルディング(株)  
 (有)山本ビル  
 安田信託銀行(株)神戸支店

(昭和63年1月現在、69社)  
●名簿はABC順です

### 新会員募集

●お問合わせ・お申込みは、  
 旧居留地連絡協議会  
 神戸市中央区江戸町91 TEL.331-2761  
 (社)神戸銀行協会内

# A HISTORY OF THE FOREIGN SETTLEMENT ①



〔1888年 神戸―横浜対抗サッカー記念写真より、中央左から2人目が、A.C.シム／資料提供KR&AC〕

及んだ。ホールはジムナジウムシアターと呼ばれ、巡業オペラのチケットは、居留地18番のシムの商館で、売っていたようである。(横浜の居留地に劇場ができたのが1870年12月6日、神戸のジムナジウムシアターは、1870年12月24日に東遊園地の南に誕生したから、ほぼ同時期に日本に西洋劇場がふたつ登場したことになる)

シムの業績はそのほか居留地消防隊の組織・活動でもその貢献ぶりが記録に残っている。また、日本でいち早くラムネを発売したのもシムの商館といわれている。

1900年、神戸で30年目を迎えた年の暮れ、シムは伝染病に倒れ、60年の生涯を閉じる。その死は、居留地の外国人だけではなく数多くの日本人たちにも惜しまれたという。現在もアレキサンダー・キャメロン・シムの碑は、彼とゆかりの深い東遊園地の南にある。

※KR & ACでは設立当初より開催しているインターポート(神戸・横浜港対抗戦)をいまでもつづけている。この春には、YC & AC(横浜カントリー & アスレチッククラブ)との神戸・横浜港対抗サッカー100年記念戦が神戸で行われる予定だ。100年前の横浜の試合では、KR & ACの勝利。記念写真にはA.C.シムの姿も写っている。100年目の春。頑張れ、神戸!

※試合は、3月12日(土) 午後1時から、3月13日(日) 午前11時から、オーバーフォーティ(40才以上の方の試合)

〔資料協力〕KR&AC/Kobe Regatta and Athletic Club—THE FIRST HUNDRED YEARS by Harold S. Williams

## 期せずして、ヒーローになった男、

### A.C.シム。



居留地から摩耶山の山頂まで往復約14km。途中には、心臓破りの石段が260段もある。この道のりを1時間24分30秒で完走した男がいた。スコットランドの北海に面した港町アバディーン生まれのアレキサンダー・キャメロン・シム、31歳だ。

彼は20代のはじめ頃ロンドンの病院で薬剤師を勤めていたが、知り合いの医師より肺結核を危惧され、気候のなじまないロンドンから再び、生地スコットランドへ戻った。それが、体を鍛え続けた彼の生活スタイルのきっかけになったようである。スコットランドの北方ハイランドの山々を歩き、さらに、走る、跳ぶなどトレーニングを重ね、体を鍛えてロンドンへ戻る。

その後、なぜ、彼が香港へ行くことになったのか動機は不明であるが、記録では、1866年に香港の海軍病院に着任している。4年間の香港滞在中は、スポーツ競技者としてめざましい活躍をする。種

目も多種にわたり、ランニング、ボート、ハンマー投げなどで数々の記録を残している。

シムが神戸に来たのは1870年。メディカルホールを居留地に作ったりウェソン商会の仕事がきっかけであった。シムは居留地18番にA.C.シム商会を設立。神戸でビジネスを始めた。

シムの功績は、枚挙にいとまがない。大阪府下の洪水、岐阜の大地震など日本各地の災害を聞けば有志をつのり、率先して救援活動を行った。彼が残した大きな業績のひとつに今も活動を続けているKR&AC(神戸レガッタ&アスレチッククラブ)がある。スポーツマンの彼は来神するとただちにKR&ACの設立を提唱。クラブは多数の賛同を得て1870年、発足した。ここでは、レガッタをはじめ、フェンシング、ボクシング、クリケット、サッカーなどが盛んに行われた。

またスポーツだけではなくKR & ACの活動は演劇の上演にまで

## お知らせ

旧居留地連絡協議会 特別講座

林泰義先生講演

『旧居留地のこれからの街づくり』

主催/旧居留地連絡協議会

協力/神戸市

2月12日(金) 午前12時から

神戸船舶倶楽部

〔神戸市中央区海岸通3番地 海岸ビル3階〕

都市活性化の研究で著名な林泰義先生をお迎えして、特別講座を開催いたします。

当会へのご連絡は下記までお願いいたします。

旧居留地連絡協議会

神戸市中央区江戸町91 (社)神戸銀行協会内

TEL 078(331)2761